

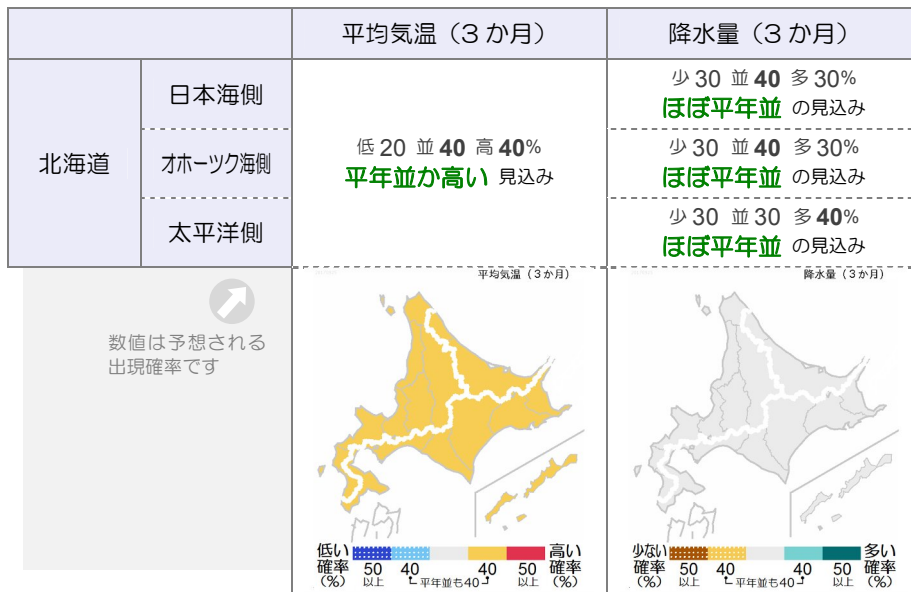
向こう3か月の天候の見通し

北海道地方 10月～12月

予報のポイント

- 大気全体で気温が平年より高い傾向が続くため、向こう3か月の平均気温は平年並か高いでしょう。
- はじめ寒気の影響で気温が低くなる可能性があるため、10月の気温は平年並か低い見込みです。
- 向こう3か月の降水量はほぼ平年並でしょう。

3か月の平均気温・降水量

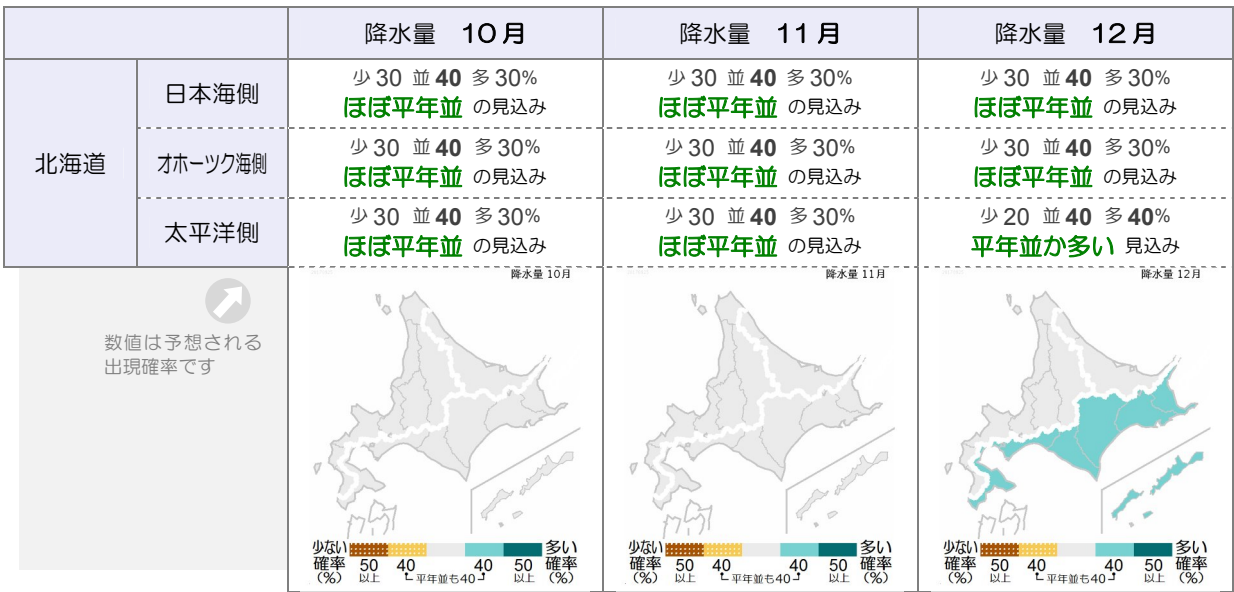
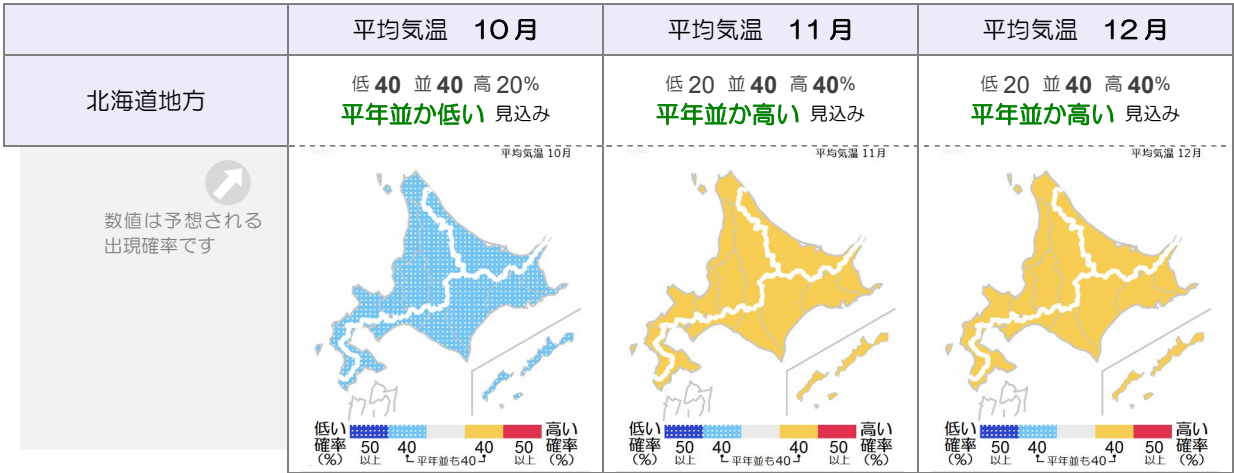


月別の天候

10月	11月	12月
<p>高気圧と低気圧が交互に通る見込みです。</p> <p>日本海側では、期間の前半は天気は数日の周期で変わり、後半は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。</p> <p>オホーツク海側・太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>次第に冬型の気圧配置が現れるようになり、寒気の影響を受ける日があるでしょう。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込みです。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>	<p>冬型の気圧配置は平年より弱く、低気圧や気圧の谷の影響を受けやすい見込みです。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多い見込みです。</p> <p>太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。</p>

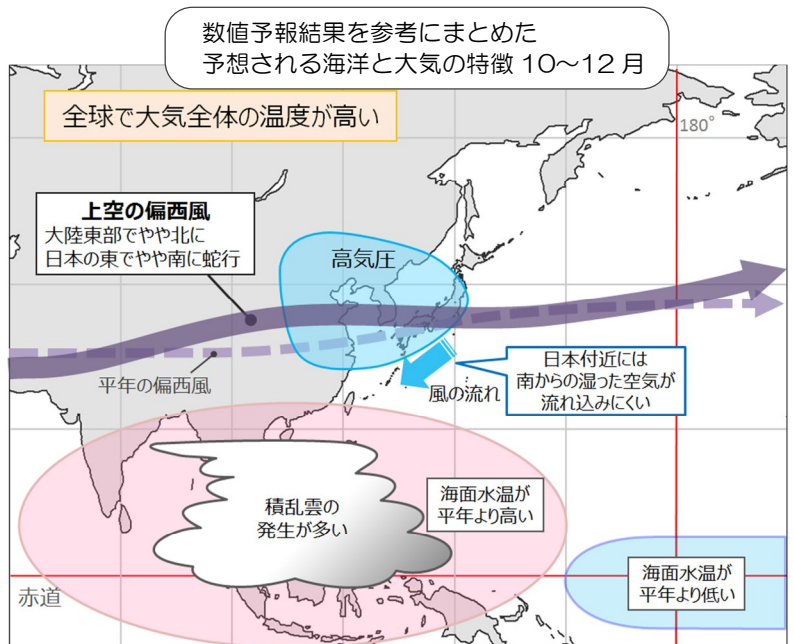
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量



予想される海洋と大気の特徴

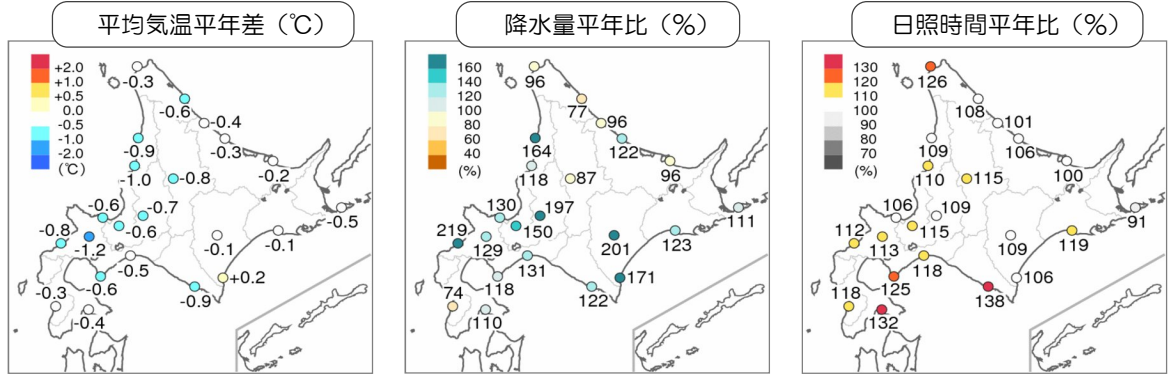
- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 海面水温は、太平洋赤道域の中～東部では低い見込みです。一方、インド洋から太平洋西部にかけては海面水温が高い見込みで、積乱雲の発生が多いでしょう。
- この影響で、上空の偏西風は大陸東部でやや北に、日本の東でやや南に蛇行するとみられます。日本付近は東谷傾向となって南からの湿った空気が流れ込みにくいため、東・西日本を中心に低気圧や前線の影響を受けにくく、移動性高気圧に覆われやすいでしょう。



今月の天候経過（実況） 9/1~20

（上旬）気圧の尾根や高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多くなりましたが、8日頃からは大気の状態が不安定となる日が続き、大雨となった所もありました（日降水量は8日に標津町北2条で35.5mmなど）。

（中旬）気圧の谷の影響や大気の状態が不安定となって、広い範囲で雨の降った日が多く、大雨となった所もありました。18日には台風第18号が通過して全道的に雨が降り、大雨や大荒れの天気となりました（日降水量は登別市カルルスで297.5mmなど）。



(実況) 9/1~20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
北海道地方	-0.5℃	129%	113%
北海道日本海側	-0.7℃	136%	113%
北海道オホーツク海側	-0.4℃	98%	104%
北海道太平洋側	-0.4℃	136%	117%

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 10月	平均気温 11月	平均気温 12月
北海道地方	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.1~+0.4℃	平年差：-0.5~+0.5℃	平年差：-0.4~+0.6℃
北海道日本海側	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.2~+0.3℃	平年差：-0.5~+0.6℃	平年差：-0.4~+0.7℃
北海道オホーツク海側	平年差：-0.5~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：-0.4~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.6℃
北海道太平洋側	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：-0.1~+0.4℃	平年差：-0.5~+0.4℃	平年差：-0.4~+0.5℃
札幌	4.8~5.7℃	11.7~12.3℃	4.2~5.5℃	-1.4~-0.3℃
網走	3.6~4.5℃	10.3~11.1℃	3.4~4.2℃	-2.7~-1.8℃
釧路	4.0~4.7℃	10.5~11.1℃	3.9~4.6℃	-2.4~-1.5℃

	降水量 3か月	降水量 10月	降水量 11月	降水量 12月
北海道地方	平年比：94~110%	平年比：91~115%	平年比：85~113%	平年比：87~110%
北海道日本海側	平年比：95~104%	平年比：84~117%	平年比：88~106%	平年比：94~107%
北海道オホーツク海側	平年比：92~110%	平年比：83~120%	平年比：78~117%	平年比：81~117%
北海道太平洋側	平年比：91~115%	平年比：81~114%	平年比：77~118%	平年比：79~107%
札幌	296.8~346.7mm	83.3~121.7mm	82.8~115.5mm	96.6~119.0mm
網走	163.6~203.5mm	55.3~71.0mm	44.8~74.5mm	48.1~66.2mm
釧路	178.6~224.5mm	72.8~126.5mm	45.8~78.0mm	31.8~54.7mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981~2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	10月		11月		12月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	16.7日	11.7日	11.7日	13.9日	11.2日	15.4日
網走	17.8日	9.1日	15.6日	9.9日	16.3日	12.0日
釧路	19.6日	6.9日	21.1日	6.7日	22.9日	5.8日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上 (20:40:40)	高い（多い）見込み 平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上 (40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
(40:40:20)	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み